

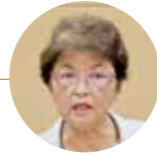
松岡 信生 議員

公明党



國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団



中田 哲 議員

新政みらい



佐々木 智文 議員

市民の会



交通

高齢者の「交通移動手段」確保の早期実現を

議員 森市政も重要課題に位置付け「おでかけサポート」として推進。一部に無償ボランティア組織も見られるが、全市的また継続性からも「有償」による運行の検討も必要。この4年間での実現に向けた工程を伺う。

市 令和3年度に「自家用有償運送」の導入を目指す

本年3月「地域公共交通網形成計画」を策定。より具体的に示した地域内交通検討支援プログラムを活用し、市内でも令和3年度には自家用有償旅客運送が導入できるよう進めたい。加えていち早く自動運転等の先端技術の導入も目指したい。(森市長)

他の質問 ●観光政策に対する本市の姿勢について

学校再編

統廃合ありきの協議会の立ち上げはすべきでない

議員 地域での議論が不十分な中で、中学校統廃合が前提の「地域協議会」を立ち上げるべきではない。市はデメリットもメリットも公平に情報を提供し、統廃合するかどうかを地域が判断をすべきと考えるが。

市 地域の皆さまとも十分に議論を深めていきたい

協議会では、保護者や地域のご意見も考慮し協議していただきたいと考えている。再編の是非も含め、学びの環境についてより良い方向性を出していただけるよう、地域の皆さまとも十分に議論を深め進めていきたい。(鹿嶽教育長)

他の質問 ●野焼き問題について ●交通不便地域の早期解消に向けて

福祉

認知症患者へ支援を

議員 認知症患者の徘徊中の事故による家族負担を減らすため、賠償保険の加入を促す支援ができないか。また、業務効率化と権利擁護につながる、成年後見制度利用促進のための機能を充実させるべきと考えるが。

市 成年後見制度の利用促進のため中核機関の設置を検討

個人賠償責任保険等の備えについてケアマネジャーと連携し周知啓発を図りたい。後見制度に係る機能充実については、中核機関の設置も視野に入れ、まずは地域連携ネットワークの構築を進めたい。(入江福祉共生部長)

他の質問 ●人材の確保・育成について ●音楽を活かしたまちづくりについて ●障害者の住まいの課題について

説明 *地域連携ネットワーク：市町村が家庭裁判所、医療・福祉関係団体、社会福祉協議会、弁護士会等の関係者と連携を図り、権利擁護の支援を行うもの。

組織

民間人材派遣によるアドバイザー設置の意義は

議員 広報戦略・産業戦略・女性活躍アドバイザーの設置は、民間のノウハウが学べる画期的な手法と考える。各分野でのアドバイスにより、今後どのように事業を進めていくのか。また、会議でのアドバイザーの立場や、指導助言に対する目標は。

市 行政にはない視点からの指導助言

市の政策形成において民間人材を活用することで、行政にない視点から課題への指導助言を得て、まちづくりの実践と地域活性化を目指す。また民間での経験を生かし、特に広報戦略・産業創造・女性活躍の分野を中心に関わっていただく。(森市長)

他の質問 ●三田市における広報のあり方について ●三田市のシティセールスに繋がる事業について

北本 節代 議員

新政みらい



美藤 和広 議員

市民の会



平野 管子 議員

公明党



白井 和弥 議員

盟政会



コミュニティ

成熟社会に相応しいコミュニティ施設の支援は

議員 本庄文化センターの建物が老朽化し、解体撤去の必要性が生じている。今後、市の人口が減る中で集会所等の統廃合も視野に入れた地域コミュニティ施設の支援が必要ではないか。

市 撤去費に対する有効な支援策が必要と考える

成熟の時代に即した地域コミュニティ施設の撤去費に対する、有効な補助支援策が必要だと考える。本庄文化センターについても、できるだけ早い時期に地域住民の不安を取り除いていけるよう施設の撤去費への補助支援策を提案する。(森市長)

他の質問 ●市長2期目の市政への取り組みについて ●野外焼却の減少と農作業の省力化について ●三田市地域公共交通網形成計画の推進について

交通

大丈夫？坂道の自転車レーンの安全性

議員 横山天神線の坂道は、勾配とカーブで、下りはスピード、上りはふらつき、カラー塗装（特に雨の日）は滑りやすく、事故が心配。

市 安全のための自転車レーン、安全運転を！

平成29年自転車ネットワークを策定し、駅や学校に、自転車利用の多い路線から順次整備中。自転車レーンはカラー塗装で視覚的に走行部分を区分し、自転車の車道通行と自動車に注意を促し、歩道の安全と、事故を防止する。しかし、道路路面は雨天時滑りやすいので、スピードなどに注意し安全通行を願う。(久高まちの再生部長)

他の質問 ●急激な高齢社会に向けた健康年齢の延長について ●市民参加で持続可能なまちづくりについて ●テクノパークを中心とした産業活性化について

組織

来年4月より精神・知的障害者を職員に

議員 共生社会の実現に向けて、これまで訴えてきたが、来年からの障害者採用の具体的な取り組みは？

市 正規職員と合わせ非常勤職員も採用

正規職員は、知的・精神障害者も受験できるよう資格範囲を広げる。また非常勤職員については、障害の程度により就労可能な業務を整え、週当たりの勤務日数や勤務時間等、働きやすい職場環境を進める。またメンターやジョブコーチを配置することで、障害を持つ職員への配慮に努める。(森市長)

他の質問 ●三田市民病院の現状と今後について ●性的マイノリティの理解促進について ●子育て支援の拡充について

説明 *メンター：仕事上の助言者、指導者。新入社員などの精神的なサポートをする専任者。 *ジョブコーチ：障害者が一般の職場に適応し定着できるように、障害者・事業主および障害者の家族に対して人的支援を行う専門職。

農業

農業用施設に対する補助金の制度化を

議員 現在の市単独土地改良事業は市が事業主体となり、工事費が地元施工と比べて割高で予算効率が悪く、また手順が複雑で突発事故では使いにくい。農業施設に対する補助金の制度化が有効と考えるが市の見解を伺う。

市 制度見直しの機会と捉え前向きに検討したい

議員提案の制度は設計や入札といった市の事務の省力化により、緊急時の対応も迅速に行えるため他の制度との整合を図りながら、適正化・有効性を十分考慮し、補助金の制度化に向けて検討を進めていきたい。(西田地域創生部長)

他の質問 ●公共施設マネジメントについて ●まちづくり協議会の今後について